

マタイの福音書
聖書講解シリーズ
10) 四人の漁師の召命
マタイ 4:18-22

2019.3.24 HKJCF

1

概観

イエス様と出会ってから、徐々にイエス様に従っていく生き方に成長するように、御言葉によって変えられたい。

アウトライン

- | | |
|--------------|--------|
| 1. イエス様に従う準備 | V18、21 |
| 2. イエス様に従う内容 | V19 |
| 3. イエス様に従う犠牲 | V20、22 |

2

1. イエス様に従う準備 V18、21

- 福音書を読む時：違う主張；献身までのプロセス（ヨハネ1:35-36; 1:40-42；ルカ 5:1-11）。ご人格と御業を通して信頼が増える。
- 型破りのイエス様：ご自分で弟子を選ぶ；へりくだりの姿；後継者選び；共同体の構築。
- 網を打つ、網を繕う時に：一生懸命、全力投球の時に、招きが与えられる；献身の理解。
- 主のお呼び：救いのご計画に参与する特権；普遍的な命令→造り変えられていく。

3

2. イエス様に従う内容 V19

- イエス様についていく：マスターの変更；王に服従し、御国の価値観で生きる⇒才能を賜物に、経験を御国のために使う生き方。
- 人間をとる漁師：裁きのシンボル（エレミヤ16:16-18; アモス4:2-3）⇒救いの時代（人々を暗闇と反逆の世界からの救済）。
- してあげよう：完全に神様の恵み；資格や才能→謙遜の心；自分を捧げる姿勢。才能の変換と新しい賜物が与えられるプロセス。

4

3. イエス様に従う犠牲 V20、22

- 網を捨てる：職業を捨てるのではなく、古い生き方を捨てる→イエス様に従う生き方。
- 従う：弟子になる、跡を追う；歩みを真似る（ἀκολουθέω, *akoloutheó*）。
- 舟も父も残して：舟は保留していた（ヨハネ21:1-3）；家族を大事にする→御国を優先。
- どんな犠牲か：①家族の心配 ②将来の不安 ③へりくだりの道。幸せな生き方=「いるべき所にいる」。

5

適用

- 今あるところから自分を捧げていく：今与えられている立場と才能を主に捧げ、主に従い、御国のために用いるように。
- 造り変えられていくプロセスを歩む：主が用いやすいように碎かれ、造り変えられるプロセスを体験するように。

6